

2022年度 市民公開講座
**NCNPにおける
認知症アウトリーチ**

2023年3月4日（土）

横井優磨



NCNP 病院

国立精神・神経医療研究センター

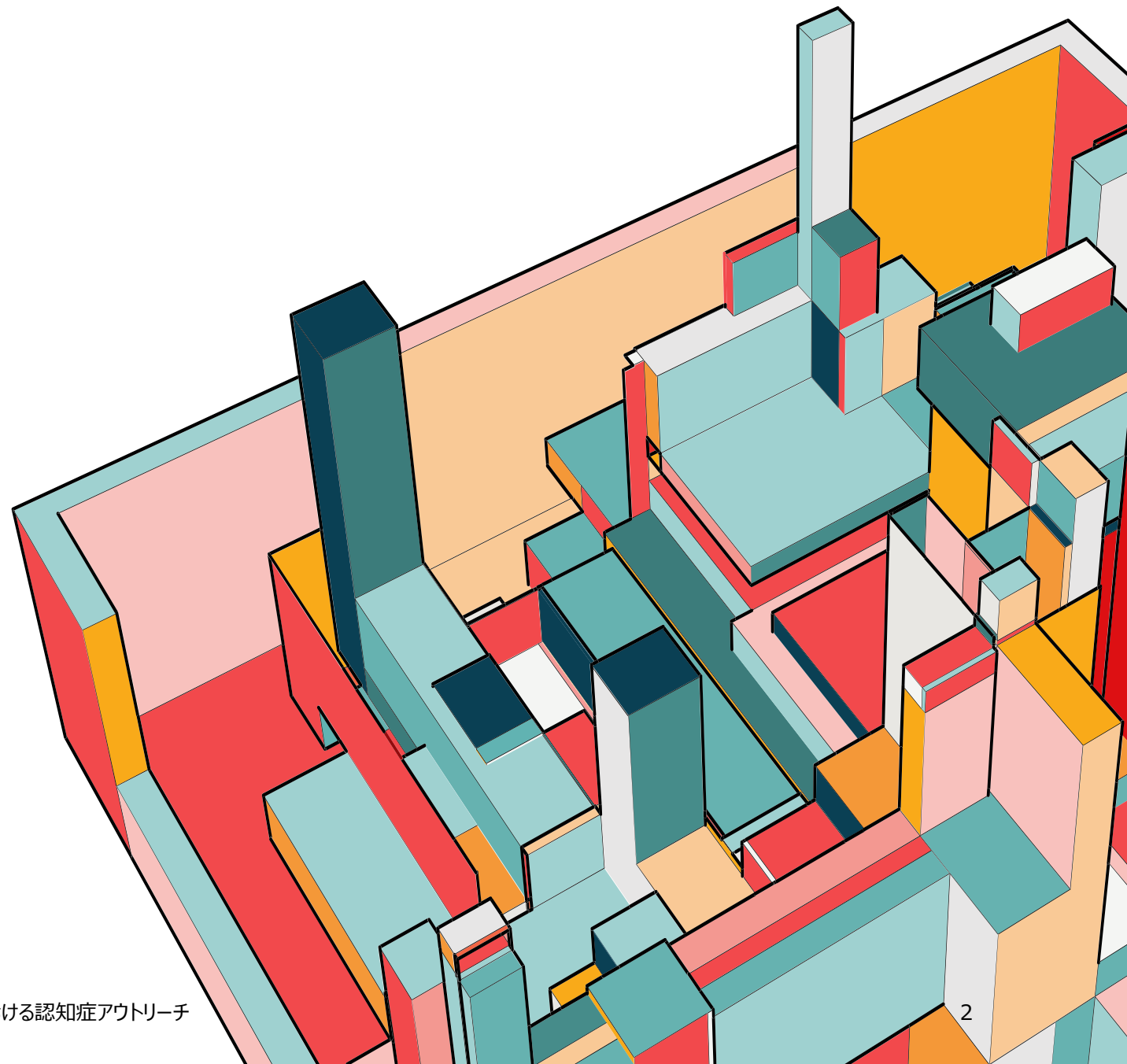
National Center of Neurology and Psychiatry

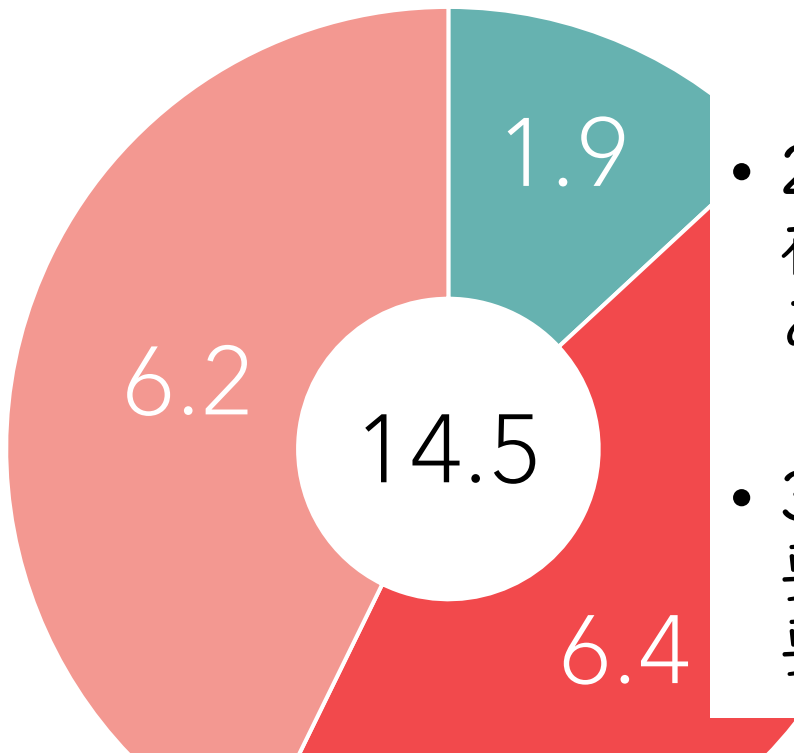
利益相反

とくにありません

2023年3月4日

NCNPにおける認知症アウトリーチ





- 1 医療費 1.9兆円
 入院:9703億円、外来:9412億円
 1人あたり入院:34.4万円/月
 1人あたり外来:3.96万円/月
- 2 介護費 6.4兆円
 在宅:3兆5281億円、施設:2兆9160億円 1人あたり在宅介護:219万円/年
 1人あたり施設介護:353万円/年
- 3 インフォーマルケアコスト 6.2兆円
 要介護者1人あたりのケア時間:25時間/週
 要介護者1人あたりのケアコスト:382万円/年

2015	2025	2035	2045	2060
15.0	19.4	22.9	22.5	24.3

わが国における認知症の経済的影響に関する研究 (H25-認知症 - 一般-005) / 研究代表者 佐渡充洋 東京:厚生労働省, 2014. 平成25-26年度厚生労働科学研究費補助金 (認知症対策総合研究事業).

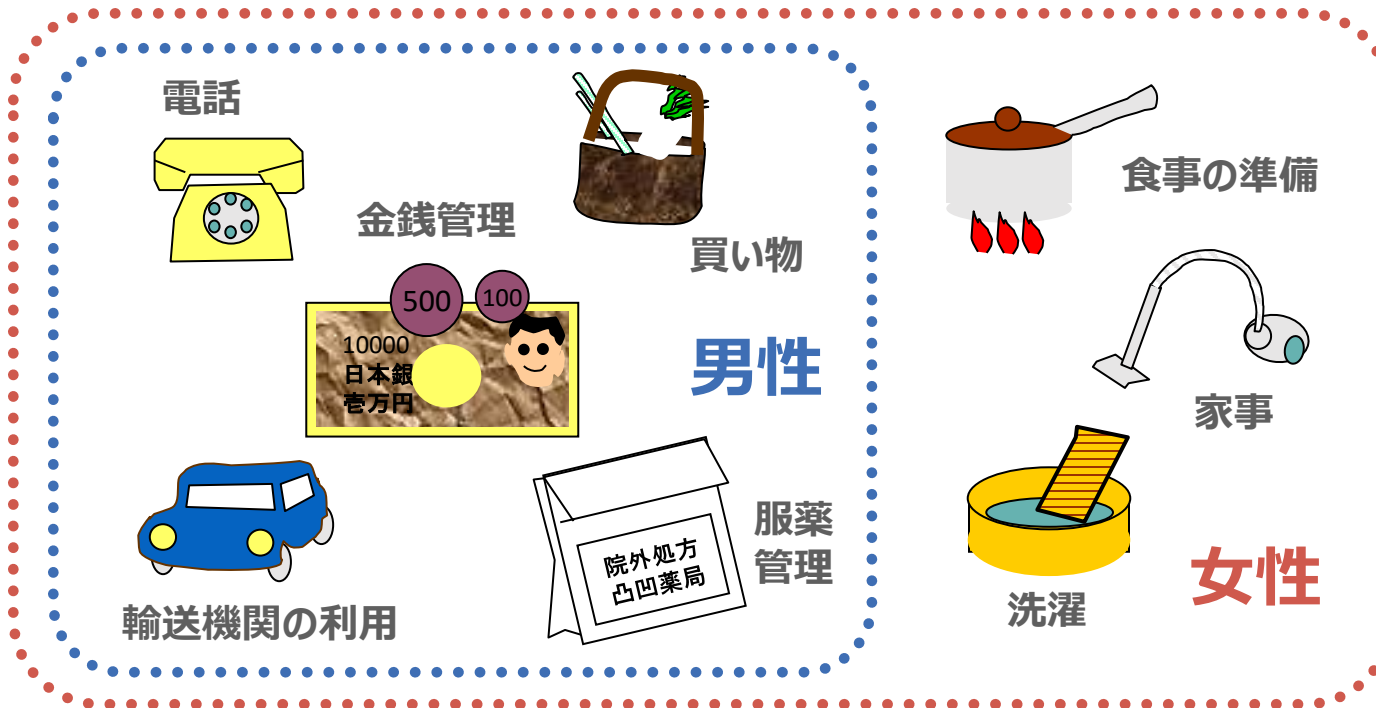
家族が最初に気づいた日常生活の変化

- 同じことを何回も言ったり聞いたりする
- 財布を盗まれたと言う
- だらしなくなった
- いつも降りる駅なのに乗り過ごした
- 夜中に急に起き出して騒いだ
- 置き忘れやしまい忘れが目立つ
- 計算の間違いが多くなった
- 物の名前が出てこなくなった
- ささいなことで怒りっぽくなった

(n:123)

IADLのアセスメント

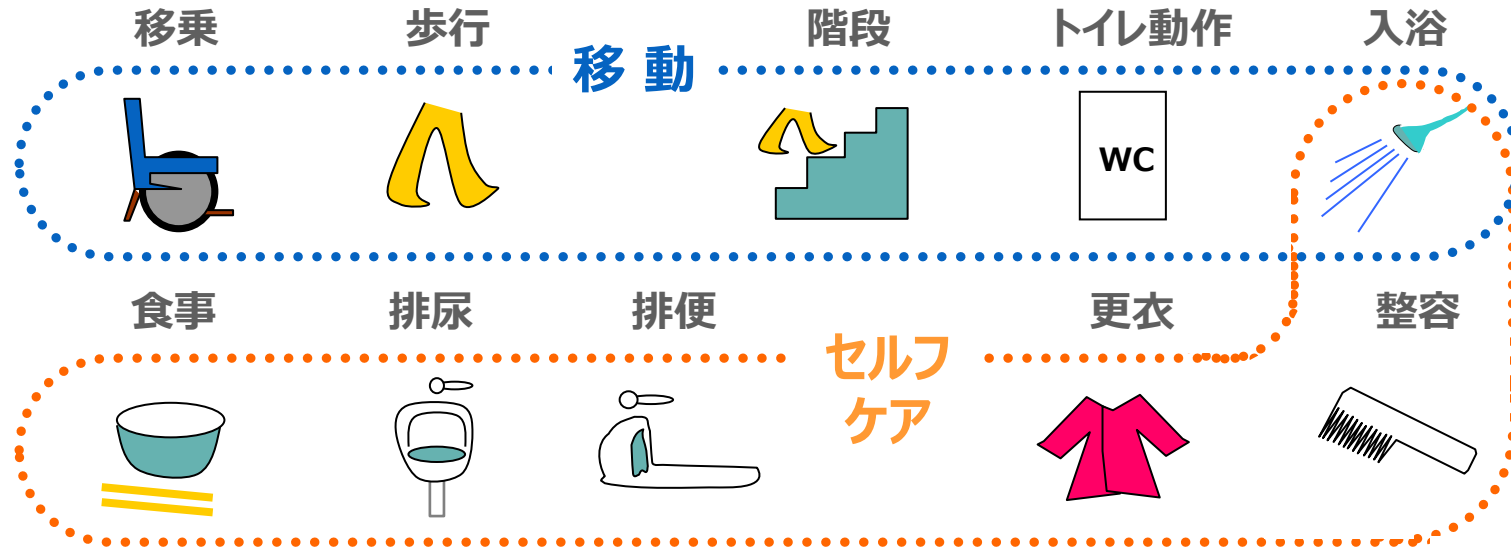
- IADL (Lawton) = 独居機能の評価



- 認知症のための障害評価尺度
(Disability Assessment for Dementia : DAD)

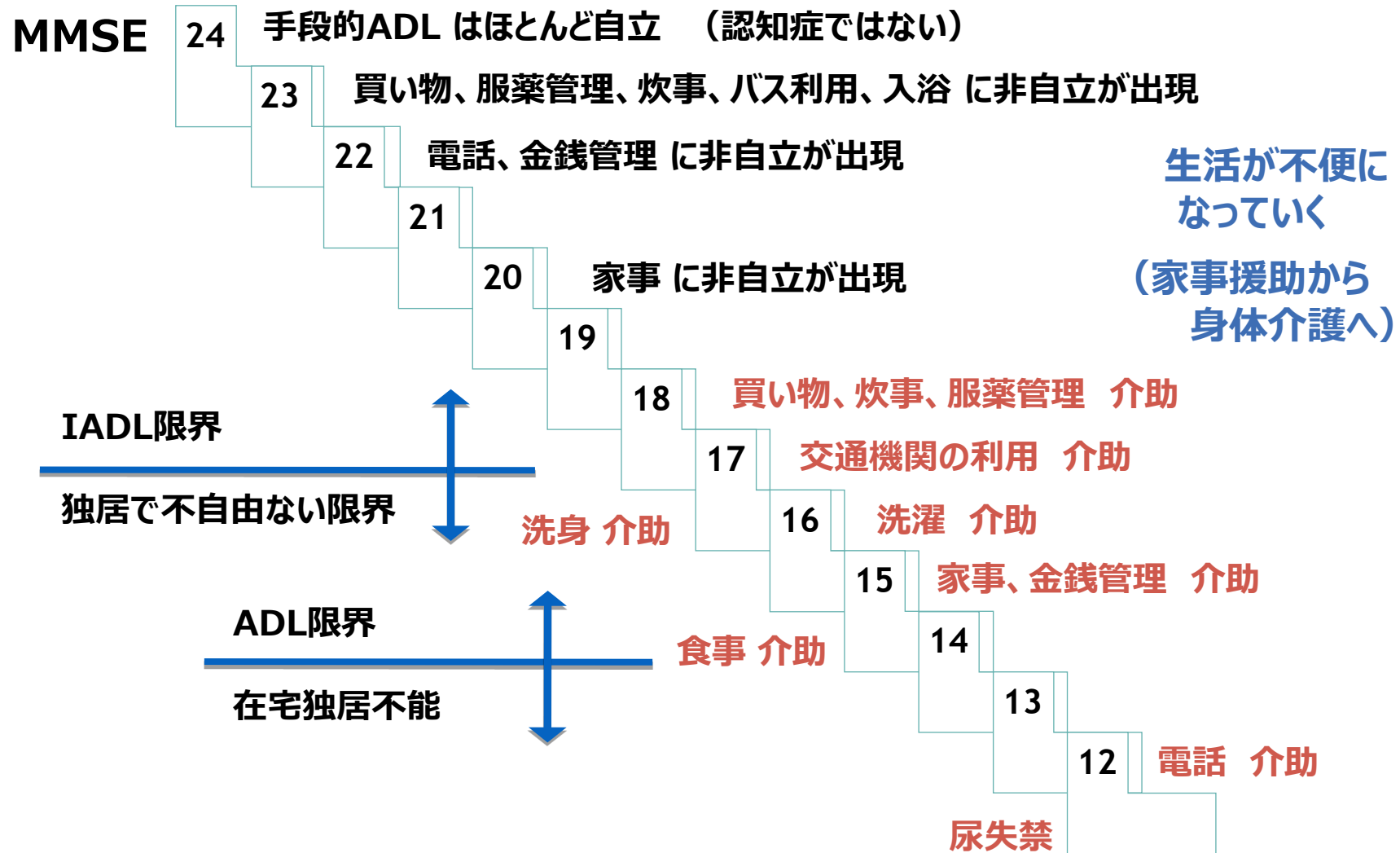
ADLのアセスメント

● Barthel Index



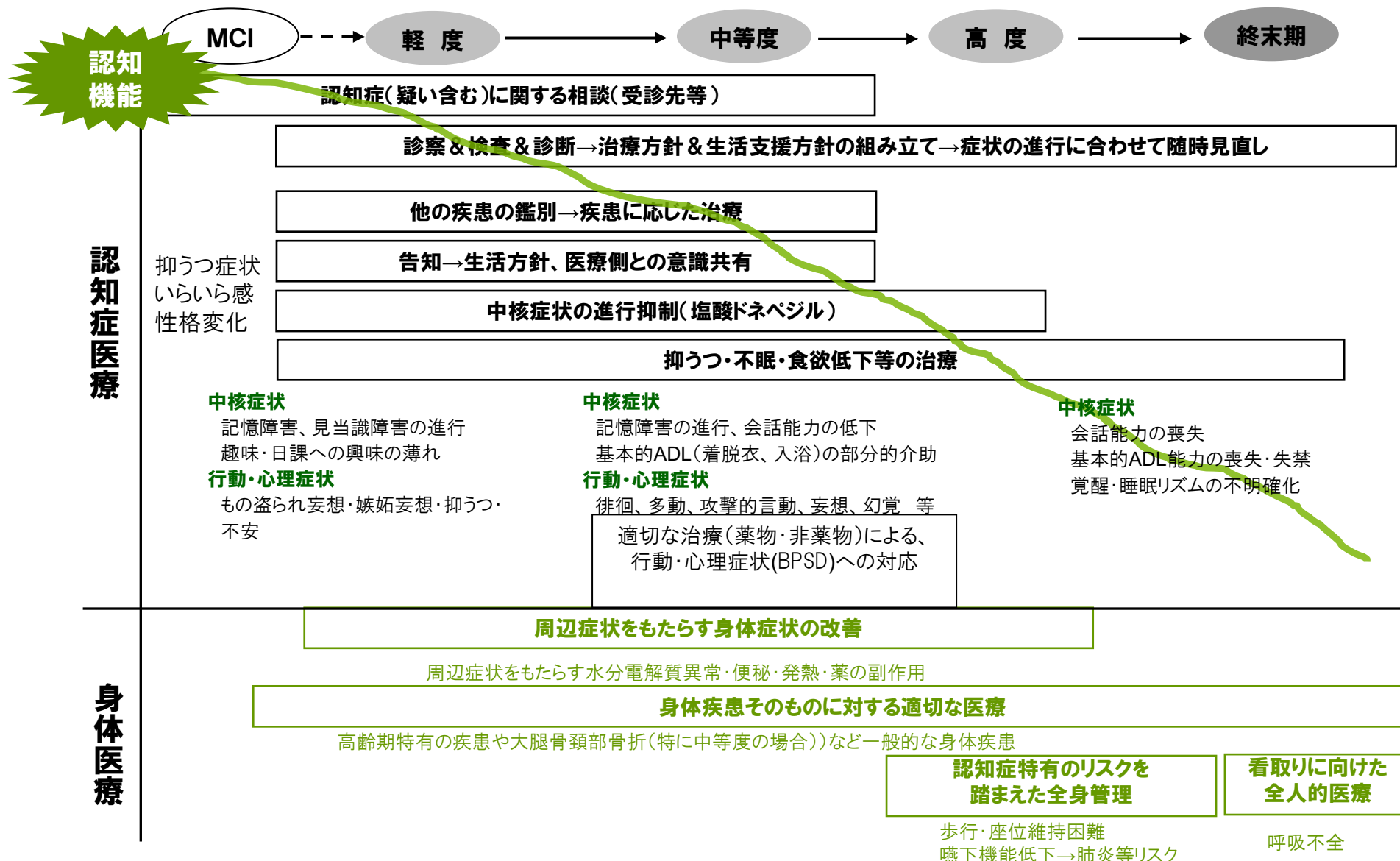
- Physical Self-Maintenance Scale(PSMS)
- N式老年者用日常生活動作能力評価尺度
- 認知症のための障害評価尺度(DAD)
(Disability Assessment for Dementia)
- ADCS-ADL
(Alzheimer's Disease Cooperative Study-ADL)

MMSEの程度とADL/IADLの関係



健康な人から死の直前の人まで

(アルツハイマー型認知症等変性疾患の場合)



(東京都福祉保健局編資料を一部改変)

お店版 認知症ガイド（横浜市西区）

0120-11-2111

概要

- 名称 : お店版 認知症ガイド
- 配布開始 : 平成30年12月6日（木）から
- 配布場所 : 西区役所 高齢・障害支援課
- 作成者 : 諸星クリニック、西区認知症キャラバン・メイト、
西区在宅介護者のつどい「あけぼの会」、
グループホームかもや、グループホームフィニックス、
西区内地域包括支援センター、西区役所高齢・障害支援課
- 体裁 : A3三つ折り



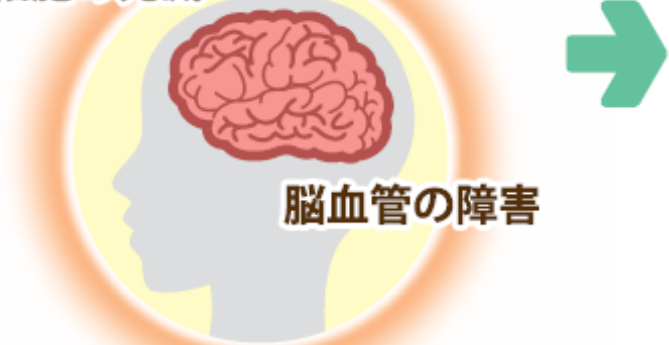
どんなことが書いてあるの？

- 認知症とは…？を分かりやすく解説
- 対応に悩む事例について、『なぜ？』『対応のポイント』を解説
- 困った時の相談先
- その他 お役立ちの情報

認知症とは…?

認知症の原因

脳細胞の死滅



脳血管の障害

認知症の主な症状

- **記憶障害**：体験した出来事などの記憶が抜け落ちてしまう。
- **見当識障害**：時間や季節、今いる場所、人物が分からなくなる。
- **理解力や判断力の障害**：物の共通点や違い、良し悪しが分からなくなる。
物事の理解に時間がかかる。
- **実行機能障害**：作業手順が思い出せない、覚えられない。
- **失行**：物事が上手くこなせない。
- **失認**：物を正しく認識できない。
- **失算**：計算ができない。
- **失語**：思いが上手く表現できない。



周囲の困惑や不適切な対応で
プライドが傷つけられ、
疎外感や不安が生じると…



行動・心理症状の出現



適切な対応で予防・改善することがあります

認知症の人への支援

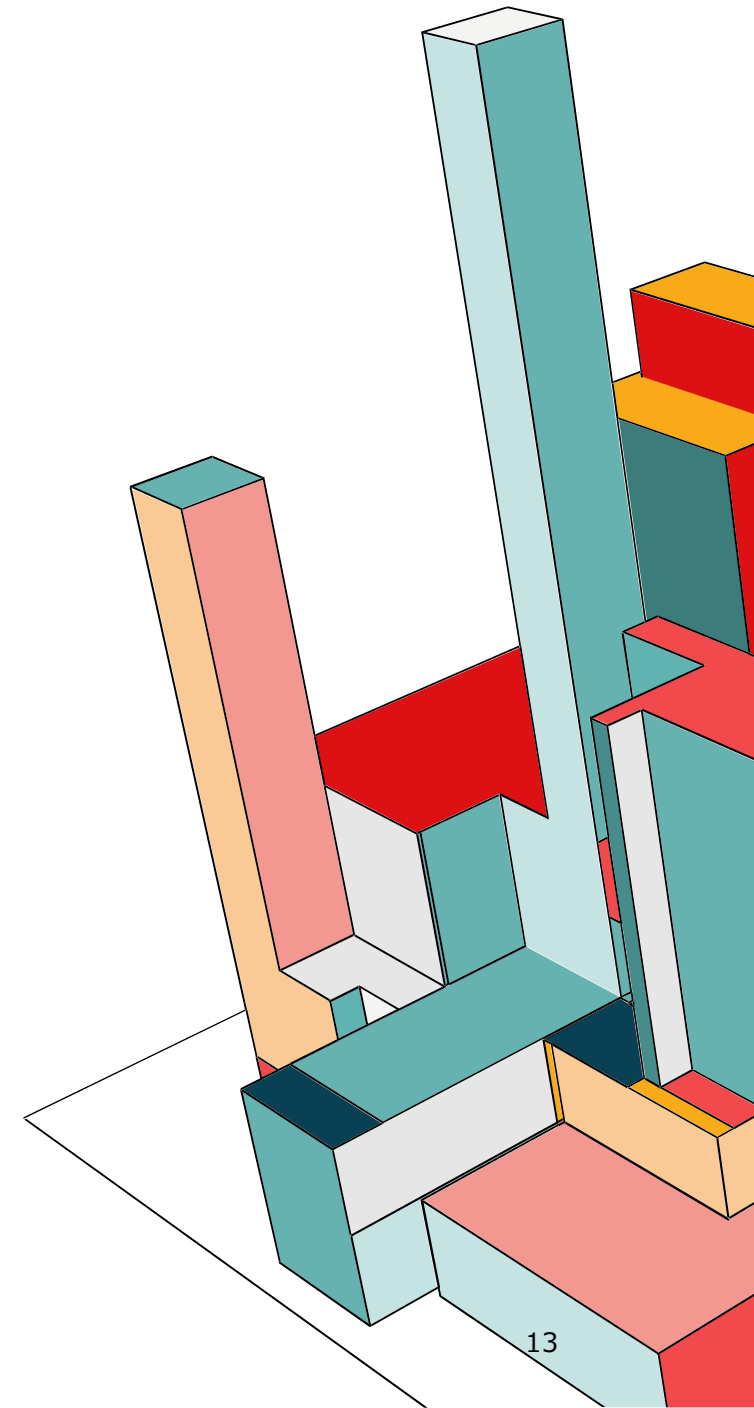
- **もの忘れがあっても充実感を持ち、安心して暮らせるように、できる限りの治療や支援を行うことを本人に伝える**
- **もの忘れを自覚する辛さを受け止め、残された能力が十分あることを伝える**
- **本人の前での家族に対する病状説明は、慎重に行う**
- **家庭の中で何らかの役割を持ってもらうこと、社会参加や介護保険サービスの利用をすすめる**
- **身体疾患を早めに見つけて治療をする**

治療期間における視点

1. 本人は強い不安の中にいることを理解して接する
2. より身近な者に対して、認知症の症状がより強く出ることが多いという認識で接する
3. 感情面は保たれているという認識で接する
4. 認知症の症状は基本的に理解可能として接する
5. いつもと様子が違うと感じたら、身体合併症のチェックを

問題

- 認知症と診断されたくない
- 介護保険や他の人に頼りたくない
- だから病院には来ない



アウトリーチ



病院から
施設から
役所から



ひとりでも
チームでも



手を
差し伸べる

チームオレンジの取組の推進

◆「チームオレンジ」とは

認知症と思われる初期の段階から、心理面・生活面の支援として、市町村がコーディネーター（※）を配置し、地域において把握した認知症の方の悩みや家族の身近な生活支援ニーズ等と認知症サポーター（基本となる認知症サポーター養成講座に加え、ステップアップ講座を受講した者）を中心とした支援者をつなぐ仕組み。

（※）認知症地域支援推進員を活用しても可

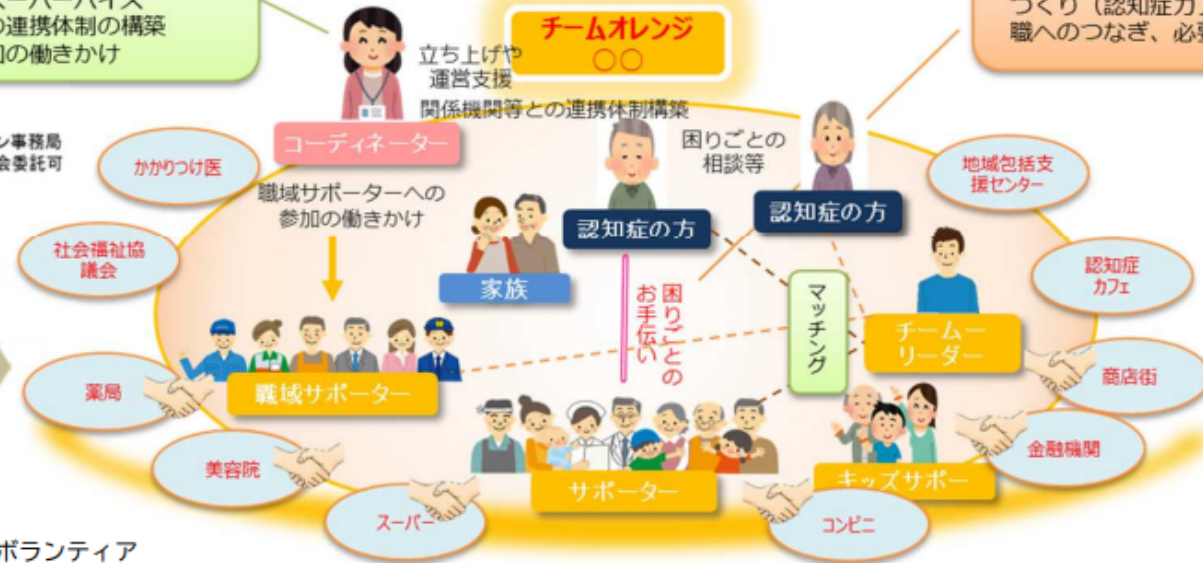
【事業名】認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業（地域支援事業交付金）

【認知症施策推進大綱：KPI/目標】2025（令和7）年

・全市町村で、本人・家族のニーズと認知症サポーターを中心とした支援を繋ぐ仕組み（チームオレンジなど）を整備

- ・仕組みづくりに関する検討会の開催
- ・チームの立ち上げ支援
- ・チームの運営に対するスーパーバイズ
- ・地域の企業や事業者との連携体制の構築
- ・職域サポーターへの参加の働きかけ

【ステップアップ実施主体】
●市町村認知症サポーターキャラバン事務局
●市町村キャラバン・メイト連絡協議会委託可
(ステップアップ研修)



見守り・声かけ、話し相手、外出支援、ボランティア訪問等、孤立しないための関係づくり（認知症カフェの同行・運営参加）、専門職へのつなぎ、必要な窓口の紹介等

※チームオレンジによる支援はボランティアで行うことが望ましい。（地域医療介護総合確保基金を活用した介護人材確保のためのボランティアポイントの仕組みの活用も可能）

チームオレンジ三つの基本
①ステップアップ講座修了及び予定のサポーターでチームが組まれている。
②認知症の方もチームの一員として参加している。（認知症の方の社会参加）
③認知症の人と家族の困りごとを早期から継続して支援ができる

<https://www.mhlw.go.jp/content/000926583.pdf>

令和3年度 認知症関連事業のご案内



*新型コロナウイルス感染症の状況により今後の予定は変更となる場合があります。

認知症が気になった時は

もの忘れチェック会

内容	簡単な質問票で認知症の疑いがあるかの確認や、認知症予防の講話をします。受診が必要な方には、後日、医療機関への紹介状をお渡しします。 国立精神・神経医療研究センター病院との共催です。
対象	もの忘れが気になる方、 認知症の診断を受けていない40歳以上の方
実施予定	① 4月27日(火) 午後2時～3時 上宿公民館 ② 5月25日(火) 午後2時～3時 中央公民館 ③ 6月22日(火) 午後2時～3時 なかまちテラス ④ 7月27日(火) 午後2時～3時 小川西町公民館 ⑤ 9月28日(火) 午後2時～3時 天神地域センター ⑥ 10月26日(火) 午後2時～3時 上宿公民館 ⑦ 11月20日(土) 午前10時～11時 福祉会館 ⑧ 1月25日(火) 午後2時～3時 なかまちテラス

医師によるもの忘れ相談会

内容	専門の医師にもの忘れの相談ができます。 ※ 感染拡大状況により、相談は、会場のテレビ会議システム(ズーム)で行います。
対象	もの忘れなどの症状があり、認知症の心配がある方、 またはその家族等
実施予定	① 5月11日(火) 午後 花小金井南公民館 ② 7月13日(火) 午後 上宿公民館 ③ 9月14日(火) 午後 小川西町公民館 ④ 11月16日(火) 午後 福祉会館 ⑤ 3月8日(火) 午後 なかまちテラス
申込み	近くなりましたら市報等でお知らせします。 (各回定員3人)




もの忘れ相談医

内容	もの忘れ相談医では、かかりつけ医ではなくても認知症の相談を受け付け、必要時に認知症の診断ができる医療機関
----	--

オレンジカフェ

内容	地域で暮らす認知症の方やそのご家族、地域住民の方が集う場所です。詳しい日程や内容については、各地域包括支援センターへご確認ください。
対象	(1) もの忘れ等認知症の症状がある本人 または家族 (2) 認知症に関心がある方
実施予定	右記<オレンジカフェ開催一覧>参照
費用	1回あたり 無料 もしくは 100円 ※ 場所によって異なります

<オレンジカフェ開催一覧>

地域包括支援センター名	原則実施日 (※祝日等により変更あり) 会場	内容	定員
けやきの郷	毎月第4木曜日・午後 上水新町地域センター 和室	談話、体操、レクリエーション、相談など  ※ 申込みの上ご参加ください。 ※ ご家族からの相談にも対応しております。 ぜひ一緒にお越しください。	15人
小川ホーム	毎月第1火曜日・午後 ほのぼの館 和室		15人
中央センター	毎月第3水曜日・午後 福祉会館 第1集会室		15人
多摩済生ケアセンター	毎月第1木曜日・午後 美園地域センター第1・2集会室		8人
小平健成苑	毎月第2金曜日・午後 鈴木公民館 学習室2		15人

※ 上記以外にも、地域で開催しているオレンジカフェもあります。詳しくは地域包括支援センターへお問い合わせください。

認知症本人交流会

内容	認知症になって、不安に感じている方は一人ではありません。思っていること、伝えたいことを、みんなで話してみませんか。本人同士で安心して話し合える場所です。
対象	認知症の症状 (もの忘れなど) がある方 ※ 家族も一緒に参加できます。
	① 5月13日 (木) ② 7月15日 (木)

認知症介護者交流会

内容	認知症の方の介護を行っている介護者同士が語り合い、交流する場です。聞いてみたいことや悩んでいることなど話してみませんか。
対象	認知症の家族を介護している方
	① 4月19日 (月) 午前10時30分~正午 ② 6月 7日 (月) 午前10時30分~正午 ③ 7月26日 (月) 午前10時30分~正午

認知症家族介護講座

内容	家族介護者同士が交流しながら、認知症の基礎知識、認知症の方への上手な接し方、ストレスとうまく付き合うための考え方（認知行動療法）を6日間学びます。年間2コース（同じ内容です）。
対象	認知症の家族を介護する方
実施予定	① 5月17・31日、6月14・21日、7月5・12日 の月曜日 ② 10月4・18日、11月1・15・22・29日、12月13日 の月曜日 時間：午前10時30分～正午 場所：健康福祉事務センター第3・4会議室
申込み	近くなりましたら市報等でお知らせします。（各回定員10人）



認知症家族介護講演会

内容	認知症の家族を介護する方を対象とした講演会です。
実施予定	年2回実施します。詳細が決まりましたら市報等でお知らせします。

小平市地域包括支援センター（高齢者あんしん相談窓口）一覧表

相談受付時間 月～金 8:30～17:15 土 8:30～17:15（けやきの郷は9:00～17:00）

地域包括支援センターは市が設置している高齢者の総合相談窓口です。

認知症に関する相談（受診、対応方法、介護保険サービスの利用など）も受け付けています。

名称	電話番号	担当地域
小平市地域包括支援センター けやきの郷	042-349-2321	栄町1～3丁目、中島町、小川町1丁目、たかの台、津田町1丁目 上水新町1～3丁目、上水本町1丁目
小平市地域包括支援センター 小川ホーム	042-347-6033	小川西町1～5丁目、小川東町1～5丁目、津田町2～3丁目 学園西町1～3丁目、上水本町2～6丁目
小平市地域包括支援センター 中央センター（基幹型）	042-345-0691	小川東町、小川町2丁目、学園東町1丁目
小平市地域包括支援センター 多摩済生ケアセンター	042-349-2123	美園町1～3丁目、大沼町1～7丁目、仲町 学園東町2～3丁目、学園東町、喜平町1～3丁目、上水南町1～4丁目
小平市地域包括支援センター		花小余井1～8丁目 毛神町1～4丁目 鈴木町1～2丁目

認知症は早めの気づき大切です

認知症は、時間とともに症状が進行する病気です。早期から対応することで、進行を遅くしたり、その人らしい充実した暮らしを続けることが可能になります。気になる変化があったらそのままにせず、**医療機関や地域包括支援センターに相談しましょう。**

「もの忘れが気になるけど、いきなり病院に行くのには抵抗がある…」という方は

もの忘れチェック会

もの忘れが気になる方で、認知症の診断を受けていない40歳以上の方が対象です。簡単な質問票で、認知症の疑いがあるかの確認や、認知症予防の講話をします。受診が必要な方には、医療機関への紹介状をお渡しします。年10回開催しています（申込み制）。市報等で日程をご確認の上、お申込みください。



「認知症が心配なので病院に行きたいけど、どう伝えていいかわからない…」という方はこちらのリーフレットをご活用ください。

小平市認知症チェックリスト

認知症かなと思ったら、このチェックリストを記入して、かかりつけ医を受診しましょう。現在の症状や、困っていること、既往歴などの受診に必要な情報をまとめて記入できます。市役所や地域包括支援センターにあります。（市ホームページからも印刷できます。）



こだいら認知症ガイドブック

認知症の病気について、介護サービス、相談先などの情報が掲載されています。市役所や地域包括支援センター、公民館等にあります。（市ホームページからも印刷できます。）



コラム その①

聞こえと認知症の関係

予防できる認知症の要因の中で、難聴が最も大きな危険因子であるとの研究結果があります。聞こえづらくなると、人との会話が億劫になり会話に参加しなくなり、生活の範囲が狭くなるため認知症になりやすくなると言われています。補聴器を利用すると認知症のリスクが減るそうです。話し声やテレビの音が聞き取りにくかったら、まずは、耳鼻咽喉科で相談してみましょう。

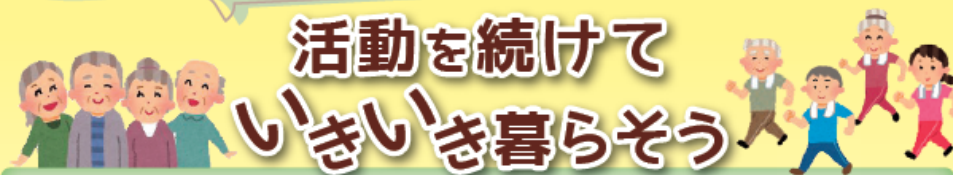
コラム その②

若年性認知症をご存じですか

64歳以下で発症した認知症のことを若年性認知症と言います。働いている年代でもあり、病気のごく初期に異常が分かるときもあります。また、経済的問題などを抱える場合もあります。これまでとは違う変化に気がついた時に早目に受診をすると、専門的な相談も早く受けることができます。受診先などの相談は地域包括支援センターで受け付けています。

認知症になっても自分らしく

活動を続けていきいき暮らそう



認知症は誰もがなる可能性があり、年をとるとともに、かかる人が増える病気です。認知症になると、もの忘れの不安や自信の無さなどから、閉じこもってしまう人も多くいます。しかし、認知症になったら、すぐに何もできなくなってしまうわけではありません。方法を工夫したり、周囲の人に助けをもらいながら、自分のできること、したいことをなるべく続けて、いきいき元気に暮らしましょう。



症状の進行を緩やかにするために



家に閉じこもらず、人との付き合いをもつ

安心して話せる人や、安心して過ごせる場所を見つけるなどして、人と会う機会を持ちましょう。



体を動かす

ウォーキングのような軽い運動と、筋肉を鍛える運動が両方できると、より効果的です。

趣味を楽しむ

自分に合った趣味を楽しみ、張りを持った生活を送りましょう。



人と交わり、できることをしながら過ごす生活は認知症の進行予防にもなりますが、無理に頑張るのではなく、楽しめる範囲での活動がお勧めです。

地域包括支援センター（高齢者あんしん相談窓口）連絡先

地域包括支援センターは市が設置し、地域の高齢者についての相談を受け付けています。認知症に関する受診先、生活面、安心して過ごせる場所の紹介など、お気軽にご相談ください。

地域包括支援センター名称	電話番号	担当地域
けやきの郷	042-349-2321	栄町1～3丁目、中島町、小川町1丁目、たかの台、津田町1丁目、上水新町1～3丁目、上水本町1丁目
小川ホーム	042-347-6033	小川西町1～5丁目、小川東町1～5丁目、津田町2～3丁目、学園西町1～3丁目、上水本町2～6丁目
中央センター（基幹型）	042-345-0691	小川東町、小川町2丁目、学園東町1丁目
多摩済生ケアセンター	042-349-2123	美園町1～3丁目、大沼町1～7丁目、仲町、学園東町、学園東町2～3丁目、喜平町1～3丁目、上水南町1～4丁目
小平健成苑	042-451-8813	花小金井1～8丁目、天神町1～4丁目、鈴木町1～2丁目、花小金井南町1～3丁目、回田町、御幸町

オレンジカフェは、認知症の方や家族、地域住民の方が集う場所です。会話やレクリエーションを楽しめます。認知症について関心がある方や地域の方も参加でき、人と人がつながり、社会とつながることができます。

最新情報や、その他の地域の居場所(サロンやカフェ等)については、「小平市医療・介護情報検索サイト」をご覧ください。
<https://chiiki-kaigo.casio.jp/Kodaira>



1 オレンジカフェなかじま

場所: 中島地域センター
中島町26-9
主催: 認知症支援リーダー等
連絡先: 菊地 ☎090-3084-3035
日程: 毎月第2木曜日・午後
参加費: 100円

2 オレンジカフェけやき

場所: 上水新町地域センター
上水新町1-14-18
主催: 包括 けやきの郷
連絡先: ☎042-349-2321
日程: 毎月第4木曜日・午後
参加費: 無料

3 オレンジカフェおがわ

場所: ほのほの館
小川西町5-39-3
主催: 包括 小川ホーム
連絡先: ☎042-347-6033
日程: 毎月第1火曜日・午後
参加費: 100円

4 ほっとカフェ小川東

場所: ITフォレスト小平地域交流室
小川東町5-7-10
主催: 認知症支援リーダー等
連絡先: 瀧口 ☎042-342-4305
日程: 毎月第4水曜日・午前
参加費: 100円



5 NCNPオレンジカフェ

場所: 病院内(現在は感染対策のためZOOM開催)
詳しくはホームページをご覧ください。
主催: 国立精神・神経医療研究センター病院
連絡先: ☎042-341-2711
または orangecafe@ncnp.go.jp
日程: 毎月第4水曜日・午後
参加費: 無料
▶もの忘れ外来医師・看護師等が参加しており、気軽に質問ができます。



6 みんなのcafe・カムカム

場所: 放課後等デイサービスポップコーン内
学園西町3-9-3 TR フラッツ103
主催: みんなのおうち設立準備会
連絡先: ☎042-312-1650
日程: 毎月第3日曜日・午前
参加費: 100円



7 ニコニコカフェつだ

場所: 津田公民館
津田町3-11-1
主催: 認知症支援リーダー
連絡先: 石井 ☎090-7273-9895
日程: 毎月第4金曜日・午後
参加費: 100円



8 スマイルカフェ上水

場所: 上水本町地域センター
上水本町3-11-11
主催: 認知症支援リーダー
連絡先: 石井 ☎090-7273-9895
日程: 毎月第4水曜日・午後
参加費: 100円

9 オレンジカフェ中央

場所: 福祉会館
学園東町1-19-13
主催: 包括 中央センター
連絡先: ☎042-345-0691
日程: 毎月第3水曜日・午後
参加費: 100円

A 認知症本人交流会

場所: 中央公民館
小川町2-1325
主催: 包括 中央センター
連絡先: ☎042-345-0691
日程: 年6回
内容: 認知症の方同士で、日々の思いや昔の思い出話などを、交流しながら気軽に話します。

11 認知症カフェよりあい

場所: 上水南公民館
上水南町1-27-1
主催: 愛の家グループホーム小平上水南と認知症支援リーダー
連絡先: ☎042-320-5188
日程: 毎月第2火曜日・午後
参加費: 100円

B 認知症介護者交流会

場所: 健康福祉事務センター
小川町2-1333
主催: 包括 中央センター
連絡先: ☎042-345-0691
日程: 年6回
内容: 介護者同士で、悩みや気持ちを語り合い、交流する場所です。

10 たまさいオレンジカフェ

場所: 美園地域センター
美園町1-19-2
主催: 包括 多摩済生ケアセンター
連絡先: ☎042-349-2123
日程: 毎月第1木曜日・午後
参加費: 無料

12 オレンジカフェ花鳥風月

場所: 鈴木地域センター
鈴木町1-400
主催: 小平東園域オレンジの会(認知症支援リーダー等)
連絡先: 中村 ☎090-3812-6100
中塚 ☎090-4369-4824
日程: 毎月第3水曜日・午後
参加費: 100円

13 オレンジカフェ健成苑

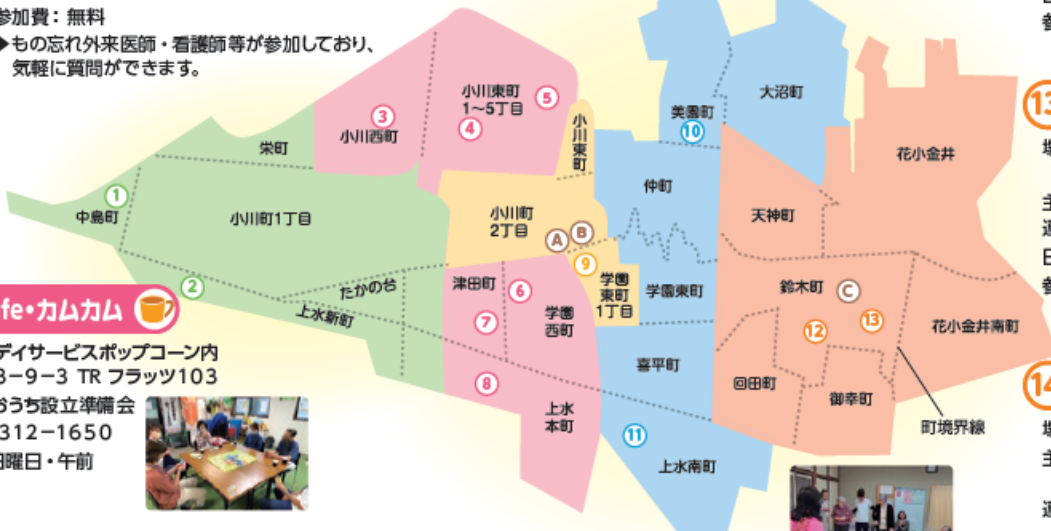
場所: 鈴木公民館
鈴木町2-772
主催: 包括 小平健成苑
連絡先: ☎042-451-8813
日程: 毎月第2金曜日・午後
参加費: 無料

14 動くオレンジカフェ花鳥風月

場所: 包括小平健成苑の圏域内
主催: 小平東園域オレンジの会(認知症支援リーダー等)
連絡先: 中村 ☎090-3812-6100
中塚 ☎090-4369-4824
日程: 第5水曜日(ある月のみ)
参加費: 100円
▶オレンジカフェを知ってもらうために、場所を変えながら実施しています。

C 認知症家族支援会

場所: 小平健成苑グループホーム花鳥風月
鈴木町2-231-1
主催: 包括 小平健成苑
連絡先: ☎042-451-8813
日程: 毎月第4水曜日・午後
内容: 介護者同士で、悩みや気持ちを語り合い、交流する場所です。



※ 包括 は地域包括支援センターのことで。

アウトリーチ



対面で

- もの忘れ相談会
- 初期集中支援チーム

New!



オンラインで

- オンライン診療



お茶飲んで

- オレンジカフェ
- 交流会

《認知症初期集中支援チームによる支援》

初期集中支援チームとは

複数の専門職が家族の訴え等により認知症が疑われる人や、認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント（その時点の状況の評価・把握）、家族支援等の初期の支援を包括的・集中的（おおむね6ヶ月）に行い、自立生活のサポートを行うチームです。

地域包括支援センターや市町村、診療所や病院等に配置されています。（県内市町村の配置先は、かながわ認知症ポータルサイトをご覧ください。）

♥たとえば、このような支援を行います♥

Aさんのケース

- ・もの忘れの症状がひどくなってきたが、受診拒否。
- ・介護サービスの利用も拒否。（介護保険は未申請）
- ・本人が夜、外に出て騒ぎ、近所迷惑が心配。
- ・家族への暴言・暴力が頻繁になってきた。
- ・入浴を拒否している。

相談

地域包括支援センター

- ・家族などからの相談を受け、認知症初期集中支援チームに“支援対象者”として紹介しました。

紹介

認知症初期集中支援チーム

- ・医療・介護の専門職（保健師、看護師、介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士等）が認知症サポート医の助言指導を受け、認知症地域支援推進員とも連携を図りながら、支援を行っています。
- ・本人、家族の課題や、支援にあたっての課題、チーム外から協力を得られるか、など評価し、対応方針の目標設定などを行います。

Aさんへの具体的な支援例

①医療受診の支援

- ・家庭訪問を行い、受診勧奨・受診同伴を計画。
- ・家族には、かかりつけ医に相談し、状況を共有してもらうことを依頼。
- ・かかりつけ医からは、「心配な点があるので」と専門医への受診勧奨を実施。
- ・後日専門医を受診し、薬の内服を開始し、かかりつけ医の受診へ戻った。

かかりつけ医

連携

認知症疾患
医療センター

②介護サービスの支援

- ・ケアマネジャーに依頼。
- ・本人に介護サービスの利用希望がないため、通所介護などの利用を検討したが利用拒否。本人の様子を見ながら、利用について調整を継続する。
- ・通所介護事業所には、送迎の工夫などにより、少しずつ拒否なく利用できるようになった。

③家族の関わりへの支援

- ・家族には、これからの認知症の経過やサービスの必要性を伝え、本人の一時的な言動に慌てずに対応してもらうよう依頼。スタッフの力を借りながら、サービス利用ができるようになった。

→医療受診、薬の内服調整を行ったことで本人の症状は安定。家族も一時的に距離を置く時間を持つことができ、本人からの暴言なども減っていった。

認知症オンライン初診について

認知症かもしれないと思っても、いきなり専門病院に行くのは敷居が高いかもしれませんが、オンライン環境ではご自宅から認知症外来を受診※していただくことが可能です。「オンライン診療の適切な実施に関する指針（平成30年3月）（令和4年1月一部改訂）」[\[外部サイト\]](#)に基づき、適切な患者様に認知症オンライン初診を提供いたします。

※ 診療には条件がございます。また医師によるオンラインでの問診等の結果、「オンライン診療の適切な実施に関する指針（平成30年3月）（令和4年1月一部改訂）」[\[外部サイト\]](#)が定義するオンライン診療ではなく、オンライン受診勧奨または受診前相談として終了する場合があります。

※ 現在のところオンライン診療は初診のみとなっております。



NCNP 病院 国立精神・神経医療研究センター
National Center of Neurology and Psychiatry



https://cms.ncnp.go.jp/hospital/patient/ninchi_online.html

診療科と対象疾患について

領域：精神科

対象：認知症

※相談内容や日程調整の理由等から、オンライン認知症初診を受診いただけない場合もございます。

手順について

1. 認知症オンライン初診申込書をFAX（042-346-1681）または郵送いただきます。
2. 書類確認後、担当者より連絡し日程調整、オンライン診療の説明等をします。
3. 受診日が決定しましたら、認知症オンライン初診連絡票、オンライン診療の説明・合意文書、クロンの操作ガイド等を郵送いたします。
4. 必要書類を認知症オンライン初診担当者宛に郵送いただきアプリで当院へ申請を実施いただきます。
5. 当日、予約時間に患者様及びご家族様とビデオ通話を開始します。
6. 終了後はアプリで決済を実施します。



NCNP 病院 国立精神・神経医療研究センター
National Center of Neurology and Psychiatry

https://cms.ncnp.go.jp/hospital/patient/ninchi_online.html

料金について

1時間：11,000円（税込み）

※1 保険診療ではありません。

※2 場合により「オンライン診療の適切な実施に関する指針（平成30年3月）（令和4年1月一部改訂）」が定義するオンライン診療ではなく、オンライン受診勧奨または受診前相談として終了する場合がありますが、料金に差異はありません。

※3 この他、curon（クロン）の使用料が別途発生します。

お問い合わせ

地域連携室

電話：042-341-2711（代表）

FAX：042-346-1681（直通）

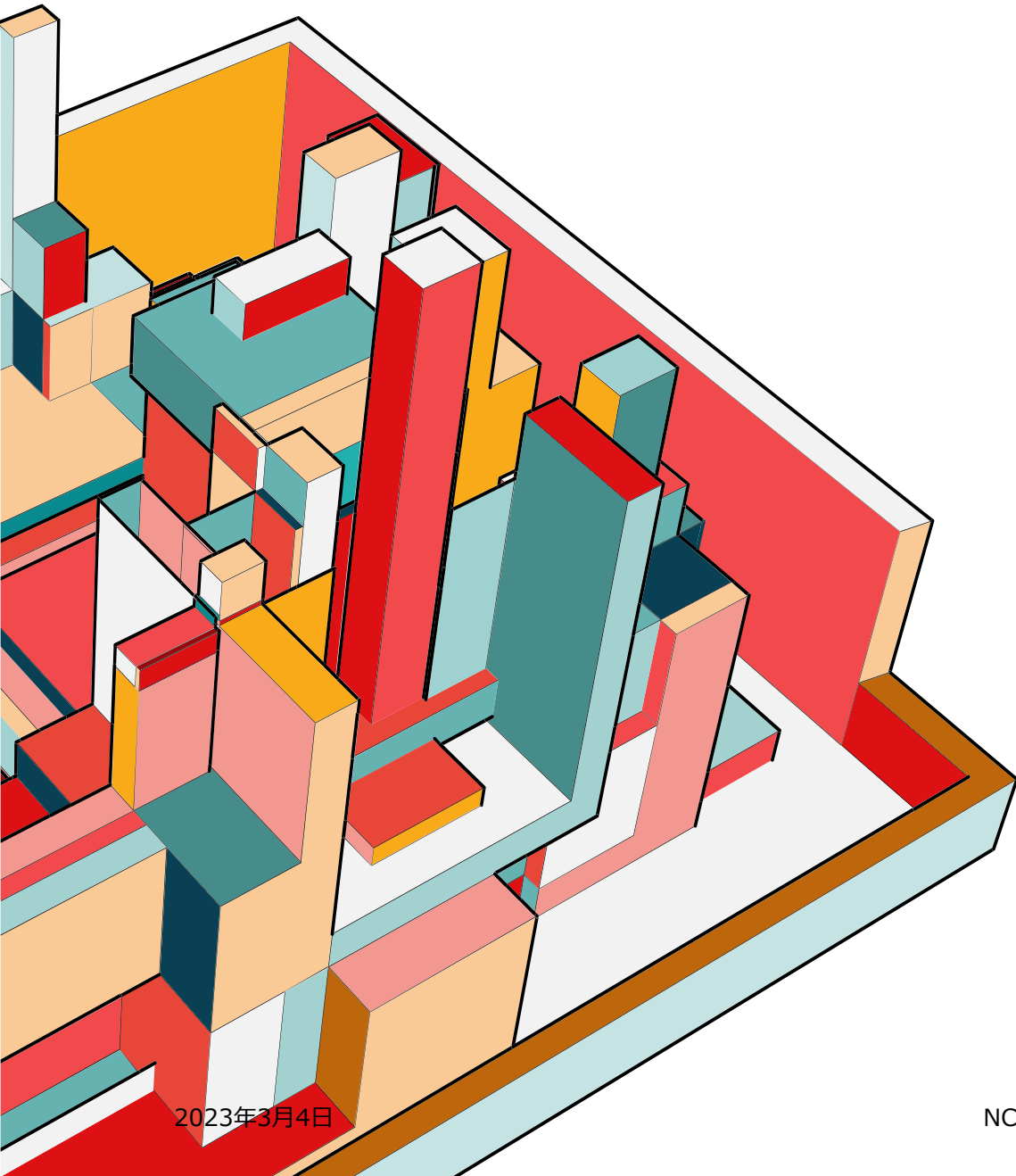


NCNP 病院 国立精神・神経医療研究センター
National Center of Neurology and Psychiatry

https://cms.ncnp.go.jp/hospital/patient/ninchi_online.html

認知症オンライン診療をやってみた感想

- 申込者は家族が多い
- 少なくとも家族は本人に認知症があると思っているケースが多い
- 過去に専門医で認知症の診断を受けている人も受けていない人もいる
- 通信が悪いとHDS-Rを行うのも大変だが、認知症かどうかの大まかな判断は何とかできる
- オンライン初診後、次回通院には応じていただけるので、いい加減なフォローアップになる心配は今のところなさそう
- 人気が出すぎる、とか儲かる、とかいうことは恐らくない



まとめ

- 認知症の人と家族のQOLを上げるためには、病院を出て活動する必要がある
- 病院を出自の方法は1つとは限らず、必ずしも医師が関与しなければいけないわけでもないが、医師がいた方が良さそうなシステムがある



ありがとうございました